

(報道発表資料)

2025 年 12 月 3 日

冬木工業株式会社

**株式会社ハイドロヴィーナスへ出資し、水流発電による分散エネルギー社会の創出に貢献
～ サステナビリティ変革 (SX) を推進し、地域循環型エネルギーの未来をともに育む ～**

冬木工業株式会社（群馬県高崎市 代表取締役 大竹 良明）は、このたび株式会社ハイドロヴィーナス（本社：岡山県岡山市、代表取締役 上田 剛慈）へ出資を行いましたので、お知らせいたします。

今回の出資は、ハイドロヴィーナスが推進する、水の流れ（川、用水、地域水路等）を活用した発電システムの社会実装に大きな可能性を見出し、当社の SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）推進の理念と方向性が一致したことを背景とするものです。

1. 背景と趣旨

ハイドロヴィーナスは、独自技術「流体励起振動（振り子型発電機）“Hydro-VENUS（Hydrokinetic Vortex Energy Utilization System）”」を基盤とし、2015 年 1 月に岡山大学発ベンチャーとして創業。水の流れを利用して発電と流速・水位などのセンシングを両立するシステムを開発し、山間部河川、市街地水路、農業用水、さらには海域潮流まで、さまざまな「流れ」のある場所でオフグリッド型のエネルギー・通信インフラ構築を目指しています。

当社が進める「SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）推進」の考え方と、ハイドロヴィーナスが掲げるビジョンには共通性が多く、今回の出資はその方向性への共感に基づくものです。

2. 当社（冬木工業）の取り組みについて

当社は、建築鉄骨・建築施工を主軸としながら、「SX 推進」および「カーボン・ニュートラル実現」に向けた活動を積極的に展開しています。2025 年 12 月 8 日には「SX 推進とカーボン・ニュートラル実現に向けた体験イベント」の開催を群馬県庁にて予定しており、環境配慮型経営の浸透を進めています。

また、2025 年 7 月 17 日付けの報道では、当社が取引先に向けて温室効果ガス排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle®」を無償提供し、サプライチェーン全体での排出量削減を後押しする取り組みが紹介されています。

このように、建設・鉄骨の領域を越え、環境・社会価値の創出に挑戦する姿勢は、地域企業としての責務と未来への投資を両立させるものです。

3. 今後の想定される連携領域

今回の出資は、現時点で具体的な協業内容を定めるものではありませんが、将来的には、地域自治体・水利組合・地方公共団体との連携を視野に入れ、「地域循環型エネルギー社会」や「気候変動適応・レジリエンス強化」に貢献する取り組みを検討してまいります。



写真：ハイドロヴィーナスの水流発電機

お問い合わせ先

冬木工業株式会社

住所：群馬県高崎市栄町 27-15

電話：027-323-5008

E-mail：info@fuyuki.co.jp

以上